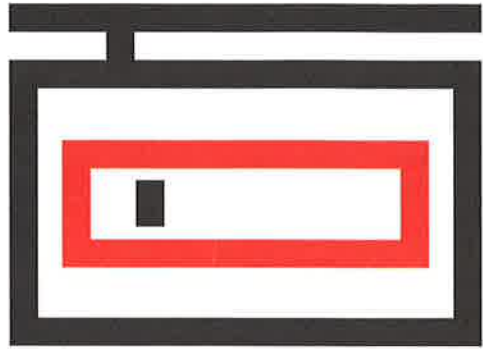


新藤兼人 百年の軌跡



日本のインディペンデント映画先駆者として数々の名作を制作し、日本映画の国際的評価を高めた巨匠、広島出身の映画監督・新藤兼人氏。

「生きているかぎり 生きぬきたい」。自身の言葉どおり、今年4月、100歳を迎えるのを記念し、監督の軌跡をたどる。



撮影／平川典俊

生 生 生
 生 生 生
 兼 人



記念上映

監督作品48本 全県下一挙公開 2012年4月～5月

- プレ上映「一枚のハガキ」 3月31日(土)～4月13日(金) 上映館／シネツイン本通り
- 広島市映像文化ライブラリー《監督作品35本上映》
- 広島県興行生活衛生同業組合加盟映画館《監督作品13本上映》
 上映館／シネツイン本通り、広島バルト11、109シネマズ広島、ワーナー・マイカル・シネマズ広島、T・ジョイ東広島、呉ポポロ、シネフクシネマモード、シネマ尾道、三原リージョンプラザ
- NTTクレドホール・プレミアム上映会
 5月11日(金)～13日(日) 各日2回上映《監督作品3本／「裸の島」「ふくろう」「三文役者」》

孫で映画監督の新藤風と



記念展示

※展示内容等、詳細は裏面をご覧ください。

- 「新藤兼人 百年の軌跡」記念展示
 4月7日(土)～24日(火) 場所／旧日本銀行広島支店
- 企画展「新藤兼人を読み解く100冊」
 4月8日(日)～5月27日(日) 場所／広島市立中央図書館



石内群堂高等学校の
 大正13年度卒業写真(列目右端)

記念トークイベント

会期中、新藤監督ならびに監督作品に出演された俳優の方々による記念トークイベントを予定しています。

写真提供／近代映画協会